

暮らし部会 【ヘルパー人材育成WG】 令和2年度 部会WG状況把握表		(案)		
活動理念	各関係機関の連携より、居宅介護等サービスの質・量の向上の取り組みを行い、圏域における地域福祉サービスの安定と充実を目的とする。			
活動目標	事業所間の相互援助体制の構築			
取り組み計画(PLAN)				
① ・新システム「さきがけシステム」の土台作り				
		実行実績(DO)	評価(CHECK)	改善(ACTION)
第1 四半期	4月			
	5月			
	6月	6/24 第1回WG ・WG長、副WG長の選任 ・令和2年度活動計画について 目標設定、方向性の協議	・WG長、副WG長を選任することができた。 ・令和2年度の活動の目標や方向性を確認することができた。	・コロナ禍の状況を踏まえ、多くの人を集める活動は控え、WGメンバーのみでできる活動を中心にした。
第2 四半期	7月	7/2 第2回WG ・今ある人員、資源を有効活用し、利用者が必要なサービスを円滑に受けられる体制作りを目標とした。 ・現状把握のため、全事業所を対象にアンケート調査を実施した。(第1回アンケートの実施) 24事業所中19事業所から回答	・回答してもらいやすいよう、項目を絞り、できるだけ選択制のアンケートとした。	
	8月			
	9月	9/15 第3回WG ・第1回アンケートの集約、分析 ・第1回のアンケートで明らかにならなかった点について、再度アンケートを実施することを決定。	・職員の配置状況や勤務時間の集計結果からは実態が見えづらかった。 ・自由記載欄からは、多くの事業所がヘルパーの人材不足や高齢化の課題を抱えていることがわかった。また、支援の需要と供給のアンバランスさがみられた。	・第1回のアンケートから見えてきた課題や、より深く掘り下げたい事柄を明らかにするため、第2回アンケートを実施することにした。
総 評 上 半 期	達成率			
	40%			
第3 四半期	10月			
	11月	11/17 第4回WG ・全事業所にアンケート結果をフィードバック。あわせて第2回アンケートの協力依頼。 ・第2回アンケートの内容協議、役割分担	・第1回アンケートの結果を踏まえ、支援の需要と供給を把握する内容とした。 ・アンケートの内容を検討する時間が十分でなかった。	・詳細な記入例を示すなど、記入してもらいやすい工夫が必要。
	12月	・第2回アンケート調査実施 24事業所中14事業所から回答		
第4 四半期	1月			
	2月	2/4 第5回WG ・アンケートの集約、分析 ・令和2年度の活動報告作成 ・令和3年度の活動計画の作成 ・令和3年度のメンバー構成の協議	・アンケートは各事業所で数字のカウントの仕方が様々であり、分析が難しかった。 ・今年度の活動を土台として、来年度以降の取り組みを行うことを確認した。	・「さきがけシステム」を構築できるよう、さらに事業所からの情報収集や分析を進めていく。 ・WGメンバーの交代も見据えて、両市1事業所ずつ新規加入の声かけを行うこととした。
	3月			
総 評 下 半 期	達成率		2回のアンケートで把握できた課題について、さらに情報収集と分析を進め、「さきがけシステム」の制度設計につなげていきたい。	
	80%			

暮らし部会 【ヘルパー人材育成WG】 令和2年度 部会WG状況把握表			
(案)			
活動理念	各関係機関の連携より、居宅介護等サービスの質・量の向上の取り組みを行い、圏域における地域福祉サービスの安定と充実を目的とする。		
活動目標	コンプライアンスを含めたサービス水準の向上		
取り組み計画(PLAN)			
②	・居宅介護スキルアップ研修 ・コンプライアンス研修		
	実行実績(DO)	評価(CHECK)	改善(ACTION)
第1 四半期	4月		
	5月		
	6月		
第2 四半期	7月	7/21 第2回WG コロナ感染予防の観点から、スキルアップ研修の開催を保留。感染状況を見ながら開催の有無を決定することとし、全事業所に対し通知した。	事業所では特にコロナ感染に敏感にならざるを得ず、研修開催を見合わせることはやむを得なかった。
	8月		
	9月		
総 評 上 半 期	達成率		
	0%		
第3 四半期	10月		
	11月		
	12月		
第4 四半期	1月		
	2月	2/4 第5回WG コロナ感染が拡大しているため、令和2年度の研修の中止を決定。	新型コロナウイルス感染症終息の見通しがたたないため、年度中の開催は難しいと判断した。
	3月		
総 評 下 半 期	達成率		年2回の研修を計画していたが、新型コロナウイルス感染が拡大する中、やむなく中止を決定した。事業所においてもリモート通信の環境が整ってきているので、今後はそうした方法も含め検討していきたい。
	0%		

くらし部会 【精神障がい地域包括ケアシステムWG】			令和2年度 部会WG状況把握表			(案)		
精神障がい者が地域の一人として安心して自分らしい暮らしができる医療・障害福祉、介護、社会参加、住まい、地域の助け合い、教育が包括的に確保された地域包括ケアシステムの構築を目指す								
活動目標 多職種で構成されるWGメンバーにより、日常生活圏域における課題を整理して、本会議に地域ケアシステム構築に向けての提言を行う 「住まい」に関する課題やニーズを客観的に把握するため、伊賀圏域のグループホーム入所者を対象としたアンケートを実施し、退所に関する意識とそれに関する要因について明らかにする								
取り組み計画 (PLAN)								
【①7月～8月計画】 ①調査アンケートの素案を基に項目・内容を検討する ①アンケートの作成、対象グループホームの特定と対象者人数の確定 ①アンケート実施方法の検討 ①依頼方法の検討 【②9月～10月計画】 ②アンケートの実施 【③11月～12月計画】 ③アンケートの分析 【④1月～2月計画】 ④得られた結果から今後の対応策についての検討を行う								
実行実績 (DO)			評価 (CHECK)			改善 (ACTION)		
第1 四半期	4月							
	5月							
	6月	6/24(於: 昨年度メンバー)	・WG長・副部長の選任 ・今年度活動計画の確認			「住まい」に関する課題やニーズの客観的に把握していく ・調査アンケートの素案作成(榎本先生)		
第2 四半期	7月	7/28 WG会議	調査アンケートの素案を基にアンケート項目・内容の検討を行う			・項目の中に通院頻度、日中活動の場を追加、柔らかい表現での質問にする ・計画相談等面識のある人と対面方式が望ましい ※国の指針では「令和2年度までに協議の場の設置」迄で、それ以降の内容が出ていない		
	8月	8/18 WG会議	前回の検討から修正した調査票と作成したインタビューガイドの内容にそいながらの検討をおこなう			次回WG全体会議は行わず、コアとして両市事務局と両センターで検討とする。 ・アンケートの最終決定 ・対象者の抽出 ・協力事業所への依頼の件 ・圏域暮らし部会事務局への承認		
	9月					上野病院が三重県精神障がい者アウトリーチ体制構築事業に於いて委託事業を認可 伊賀圏域を担当する。実績の報告予定		
総 評 期	上半期	達成率						
		90%						
第3 四半期	10月	10/13 コア会議	・対象者は精神福祉手帳所持の伊賀管内GH利用者として対象者名簿の作成(33名予定)			調査は、現状を把握されているサービス管理責任者で実施して頂く		
	11月	11/17 コア会議	・12月前半に両市で各法人へ調査の趣旨説明を行い協力を依頼する			令和3年1月までに調査いただき、回収は依頼者で行う		
	12月	5ヶ法人に調査依頼を行う	両市で実態調査協力依頼を行う					
第4 四半期	1月	調査回収	集計(結果分析)等を実施→榎本先生に依頼					
	2月		アンケート集計中					
	3月					コロナ禍であり会議開催についての工夫、検討が必要である		
総 評 期	下半期	達成率						
		%				次年度、アンケート結果分析から課題抽出を行う。		